



RQI

蘇生の質の向上

CPRでは些細な失敗でさえも許されないこと、そしてスキルは低下するものであることを専門家なら誰もが知っています。質の高い CPR を絶えず実践する能力は、患者さんの予後を高めるうえで極めて重要であり、心停止状態からの生存を可能にする最後の砦でもあります。

RQI(蘇生の質の向上) プログラムでは、最新の科学および教育技術を駆使して包括的な学習システムを提供し、CPR に関する知識とスキルの急速な低下に対処します。受講者は、2 年毎に CPR コースを受講する代わりに、3 カ月に 1 回、病院内で能力評価を受けることで、質の高い CPR スキルを習得し、習熟度を維持することができます。

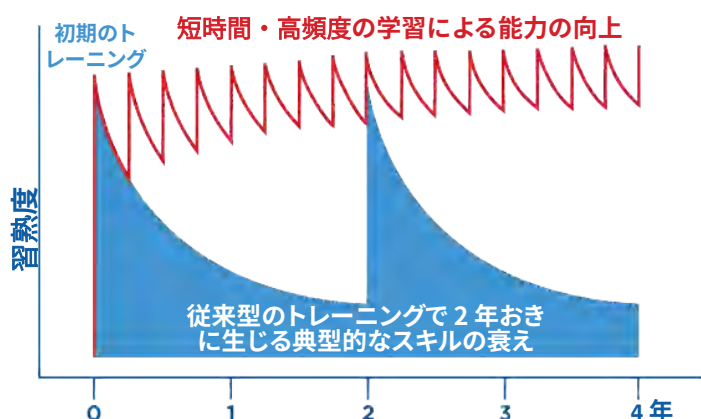
RQIプログラムは、アメリカ心臓協会の科学的知識とレーラドメディカル技術の融合して開発され、患者さんの予後の改善に役立てられています。





RQI プログラム 救命の成果を最大限に引き出す

RQI(蘇生の質の向上) プログラムは、シミュレーションベースのスキル習得に適した信頼性の高いプラットフォームを提供し、質の向上を目的とした短時間・高頻度のセッションを通じて能力を測定・評価して、医療従事者が救命スキルを習得し、維持することができるようサポートしています。



プログラムを支える科学

研究によると、従来型の 2 年サイクルの BLS トレーニングは、より多くの救命に必要なとされる質の高い CPR スキルを習得するうえで不十分だと明らかにされています。スキルの低下は、トレーニングの終了からわずか 3 カ月で生じます。

RQIプログラムの連続的なカリキュラムでは、スキルの低下が生じる前に能力評価を実施し、高い習熟度を保ちます。

プログラムの特徴

短時間・高頻度の教育 – 2年毎に費用と時間をかけて移動し、長時間のトレーニングクラスを受ける必要はもうありません。本プログラムは、臨床の現場にしながら、医療機関の予定に合わせて3カ月毎の短いスパンで実施できます。

フィードバックを得ながら自分のペースで進められるアダプティブラーニング – スキルセッションは、RQI シミュレーションステーションで音声と画像によるフィードバックを受けながら受講できます。eラーニングへは各種デバイスからアクセスでき、そのコンテンツには革新的なアルゴリズムが採用されているため、各受講者の習熟度に応じて学習の内容がリアルタイムで調整されます。

投資と保守費用の削減 – RQI のサブスクリプションモデルにより、設備投資を縮小して、将来的な保守費用を削減し、機器からソフトウェアに至るまでのトータルサポートを受けることができます。



RQIヘルスケアプロバイダー

蘇生の質の向上



RQIヘルスケアプロバイダープログラムは、患者さんの診療に直接携わる看護師、医師、放射線技師などの医療従事者を対象に短時間・高頻度の CPR トレーニングと CPR スキルの能力評価を提供します。

RQI 学習の流れ

RQI プログラムは、知識向上のための e ラーニングと実践によるスキルトレーニングで構成されています。蘇生スキルの維持を目的とした 3 カ月毎のカリキュラムへと進む前に、プログラム開始前の課題が用意されています。



受講者の知識レベルに基づいて、もし基礎知識が必要であれば準備コースを、そうでなければ導入コースを出します。プログラム開始前の課題と 3 カ月毎の課題にかかる時間は、受講者の習熟度により異なります。

e ラーニング形式での認知評価活動:

- ・ 成人心停止アルゴリズム
- ・ 救命者 1 名での小児心停止アルゴリズム
- ・ チームダイナミクス
- ・ 救命者 2 名以上での小児心停止アルゴリズム

RQI シミュレーションステーションでのスキルセッション:

- ・ 成人/小児の圧迫
- ・ 成人/小児の換気
- ・ 乳児の圧迫
- ・ 乳児の換気
- ・ 年に一度のベースラインスキルチェック

RQI プログラムは、CPR のコアスキルを定期的に強化することで、医療従事者がスキルを無理なく自然に実践して、蘇生トレーニングに集中することができるよう支援します。RQIの管理者は、各セッション後に発行される RQI の e 認定証を通じて、受講者が質の高い蘇生スキルを維持していることを確認することができます。